

令和 7 年度 住之江区区政会議

第 2 回すこやか・まちづくり部会 会議録

1 開催日時 令和 7 年 1 0 月 2 9 日（水） 1 9 時 0 0 分から 2 0 時 0 0 分まで

2 開催場所 住之江区役所 3 階 第 3－1、3－2 会議室

3 出席者

〔区政会議委員〕

三木 康彰 委員、魚谷 靖子 委員、久保 正恵 委員、高田 尚史 委員

谷本 さやか 委員

（出席 5 人／委員数 7 人）

〔住之江区役所〕

玉置 信行 副区長

井平 伸二 協働まちづくり課長

来馬 恵 I C T・企画担当課長

松本 勝也 保健福祉課長

岩本 穰 生活支援課長

福田 佳代子 保健担当課長

川井 圭史 協働まちづくり課長代理

岸田 詠美子 I C T・企画担当課長代理

大家 典子 保健福祉課長代理

片山 佳子 保健副主幹

鞍馬 由実 生活支援課長代理

本田 弘美 保健副主幹

4 発言内容

○井平課長

それでは令和7年度住之江区 区政会議第2回すこやか・まちづくり部会を開催いたします。

事務局の住之江区役所協働まちづくり課長の井平です。よろしくお願いいたします。

本年9月30日で前期の区政会議委員の2年の任期が満了しましたので、本日は10月1日より新たに区政会議委員になられた方による初めての区政会議となっております。皆様におかれましてはこれから2年間にわたりまして区政会議委員を務めていただくことになります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

住之江区の区政会議は、すこやか・まちづくり部会、はぐくみ・教育部会、防災・安全部会の3つの部会により構成されております。今回、こちらのすこやか・まちづくり部会では、7名の区政会議委員の方に所属いただいております、そのうち5名の方が新たに委員になられたところでございます。

早速ではございますが、本日お集まりの委員の皆さまに自己紹介をお願いいたします。

○魚谷委員

皆さま、こんばんは。公募で委員となりました魚谷靖子と申します。本日はよろしくお願いいたします。

○久保委員

初めまして。敷津浦地域活動協議会の久保です。今回から初めて委員をさせていただきますので、よろしくお願いします。

○高田委員

こんばんは。昨年度まで住之江区PTA協議会の会長をさせていただいておりました、高田と申します。何かお役に立てればということで応募しまして委員をさせていただ

いております。この度はよろしくお願いいたします。

○谷本委員

こんばんは。住吉川地域活動協議会から参りました谷本です。私は昨年に引き続き委員として参加しております。今日はよろしくお願いいたします。

○井平課長

皆さまありがとうございました。三木委員について来られましたらご挨拶いただきたいと思います。次に区役所職員の自己紹介をさせていただきます。玉置副区长よりお願いします。

○玉置副区长

皆様、こんばんは。住之江区役所の副区长の玉置と申します。皆様にはふだんから本当にいろんな分野で大変お世話になっております。まずその点につきまして厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

そんな皆様お忙しい中ではあるんですけども、またこういった形で区政委員ということで、2期目の方、今回1期目の方ということで、こちらのほうに来ていただいておりますこと、本当にもう感謝しております。この2年間忌憚のないご意見をいただきまして、ぜひ住之江区が前に進むためにというふうに思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○井平課長

協働まちづくり課で課長をしております、井平と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○来馬ICT・企画担当課長

ICT・企画担当課長の来馬と申します。よろしくお願いいたします。

○岸田ICT・企画担当課長代理

総務課ICT・企画担当課長代理の岸田と申します。本日はよろしくお願いいたします。

○福田保健担当課長

保健担当課長の福田と申します。よろしくお願いいたします。

○岩本生活支援課長

生活支援課長の岩本です。どうぞよろしくお願いいたします。

○松本保健福祉課長

保健福祉課長の松本と申します。よろしくお願いいたします。

○川井協働まちづくり課長代理

協働まちづくり課長代理の川井と申します。よろしくお願いいたします。

○本田保健副主幹

保健福祉課の副主幹の本田と申します。よろしくお願いいたします。

○鞍馬生活支援課長代理

生活支援課長代理をしております、鞍馬と申します。よろしくお願いいたします。

○片山保健副主幹

保健福祉課副主幹の片山と申します。本日はよろしくお願いいたします。

○大家保健福祉課長代理

保健福祉課長代理の大家と申します。よろしくお願いいたします。

○井平課長

それでは会議の成立についてご報告します。

本会議は、午後 7 時 5 分現在、全委員 7 名中、4 名のご出席をいただいていますので、定足数である委員定数の 2 分の 1 以上を満たしておりますことを、ご報告いたします。

本日の議論の内容は、12月2日（火）に開催予定の区政会議全体会で部会長からご報告いただき情報共有を図ってまいりたいと考えています。

また、議事録につきましても後日公表となり、公表する際は、発言者と発言内容についても公開されますので、ご承諾いただきますようよろしくお願いいたします。

また広報や記録のために写真を撮影しますので、合わせてご了承くださいますよ

うお願いいたします。

また、この会議には個人情報などの非公開情報はございませんので公開とさせていただきます。本日、傍聴者はおられません。

なお大阪市では近年の気候変動対策をはじめとする環境施策や職員の働き方改革の観点を踏まえ軽装勤務の通年化を実施しております。気温や体調等に応じた快適な服装での会議出席となりますので、ご了承ください。

それでは、本日の資料の確認をお願いいたします。

お手元の資料です。まず一番上に次第がありまして、その次に「すこやか・まちづくり部会」の委員名簿。片面が全体の名簿になっています。その次に配席図。その次に資料1「令和7年度住之江区運営方針の進捗状況と今後の方向性について」。その次に資料2「いただいたご意見と対応方針」。その次が資料3「区政会議について」。裏面が「地域活動協議会について」と書かれた分です。その次に資料4「見守りあったかネットイメージ図」。次が資料5「地域活動協議会とは」。その次が資料6「まちづくりセンターとは」。最後に資料7「町会加入促進チラシ」となっております。不足はございませんでしょうか。またあれば、その都度言ってください。

本日の会議ですが「令和7年度住之江区運営方針の進捗状況」をご報告し、各取組の課題と方向性について、ご説明いたします。その上で各取組の課題解決に向けた改善策及び今後の方向性について、ご意見などをいただければと思っております。

本日、時間は20時までの1時間を予定しております。スムーズな議事進行にご協力をお願いいたします。

では早速ですが、1つ目の議題「すこやか・まちづくり部会の部会長の選任」に入っております。区政会議の委員改選後、初めての区政会議すこやか・まちづくり部会になりますので、会議の運営に当たりまして部会長を選出する必要があります。立候補される方や、どなたか部会長に推薦したい方がおられましたら挙手をお願いいたします。

はい。ないようですので部会長には事務局のほうから区政会議委員に２期目となります三木委員を推薦したいと思います。三木委員からは、ご了承いただいております。皆さん、どうでしょうか。

(拍手)

○井平課長

では、三木委員に部会長をお願いしたいと思います。

次に、部会長の補佐をいただく副部会長の選任をさせていただきたいと思います。今回も事務局から推薦させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

はい。では副部会長には、高田委員をお願いしたいと考えています。高田委員、よろしいでしょうか。

○高田副部会長

はい、承知いたしました。

○井平課長

はい。それでは、皆さんの拍手をもって高田委員をお願いしたいと思います。

(拍手)

○井平課長

高田委員、よろしくお願いいたします。

それではこの後、部会長にお任せして進めていきたいと思っておったのですが部会長が今来られてませんので。急遽、副部会長の高田さんをお願いをしたいと思えます。

○高田副部会長

改めまして、こんばんは。高田と申します。よろしくお願いいたします。

先ほども申し上げましたが昨年は住之江区PTA協議会の会長まで務めさせていただきまして、そのときにいろいろと区の行事ですとか、本当に取組とかいろいろ見せていただいて本当に関わることができてよかったなと思っています。

会長を務めていたんですけれども当然ながら息子が卒業しまして、PTAも卒業という形になりました。すごくロスになりましたですね、何かしたいなというところに、たまたまこの区政会議の公募がありましたので、よしちょっとやってみようということで申し込みさせていただいた次第です。

何で子育てのほうの部会じゃなくて、「すこやか・まちづくり」部会なんやというのを面接のときにも突っ込まれたんですけれども。もう直感で、ここかなというのもあったんですけど、やっぱりちょっとうちの親・義理の親もいろいろと高齢になってきてなかなか過ごしにくい状況がいろいろと見えてきてます。また、当然ながら子育てもまちづくりそのものからやっぱり派生していることですので、器となるところってというのがしっかりしていかなければというところもありましたので、この部会はちょうどいいのではないかなというふうに思いまして応募させていただきました。ありがとうございます。

ということで、この部会の議事を今日は代わりに進めさせていただきます。

本日は、令和7年度住之江区運営方針の進捗状況と今後の方向性について、議論いただきます。

早速ではございますが事務局より説明をお願いいたします。

なお、今回初めての委員、私も含めておられますので、できるだけ丁寧に説明のほうをお願いいたします。

○井平課長

はい、ありがとうございます。それでは私のほうから説明させていただきます。

本日の資料は「令和7年度住之江区運営方針の進捗状況と今後の方向性について」となっております。運営方針とは、住之江区がめざす「心から誇りに思えるまち、住之江区」に向けて、重点的に取り組む課題を掲げて、その課題を解決することを目的とした取組を掲げたものとなっており「子どもたちの未来のために」と、「すべての人がいきいきと自分らしく暮らせるために」と、「安全・安心に暮らすために」の3

つの経営課題を掲げております。当部会では、そのうちの経営課題に「すべての人がいきいきと自分らしく暮らせるために」について、ご議論いただくこととなります。

資料には、この課題でめざす主なSDGsゴールも掲載しておりますので、ご参考にご覧ください。

それでは具体的な説明に入らせていただきます。資料を1枚めくっていただきますと「令和7年度住之江区運営方針の課題と今後の方向性について」、簡単に1枚にまとめております。以降のページでは、現在の取組に対する進捗状況とか課題等をちょっと詳しく記載し、特にご意見いただきたい今後の方向性については赤枠で囲んでおります。

では早速、資料の先ほどの1ページをご覧ください。

まず経営課題2-1「支え合い安心して暮らせるまち」の各取組について説明をいたします。

まず具体的取組2-1-1「安心を提供する福祉施策の推進」の取組としまして、区民の困り事に対してより適切な支援につなげられるよう、区役所の全ての職員に対して「気づき」や「感度の向上」に関する研修を実施し、相談対応力の向上に努めてまいります。個別の支援に当たりましては、関係機関の情報共有、連携のため総合的な支援の場としてつながる場などを積極的に活用してまいります。

次に、具体的取組2-1-2「地域福祉の充実」の取組としまして、地域における要援護者の見守り活動の推進及び虐待防止の要として、「見守りあったかネットコーディネーター」を14地域に配置し、毎月連絡会を開催して各地域の課題や取組の共有を行っています。また地域において見守りあったかネットコーディネーターが地域住民に対して「見守りあったかネットサポーター養成講座」を開催しています。地域での見守り活動の芽が増えるようサポートの内容を分かりやすく発信することで区民の参加を促進してまいります。

参考資料、先ほどの4に「見守りあったかネット」のイメージ図をつけてますの

で、また後ほどご参照ください。

次に、経営課題 2-2 「活力と魅力のあふれるまち」の各取組についてご説明いたします。

まず具体的取組 2-2-1 「多様な主体と連携した地域活動協議会による自律的な地域運営の促進の取組」としまして、まちづくりセンターと連携して地域ごとの困り事に対して寄り添った支援を行うとともに地域活動協議会自らが積極的な情報発信を行うことができるよう情報発信等に係るスキル向上の支援に力を入れています。また企業・NPO・学校・地域交流会等の継続的な開催により地域課題の解決に向けた共同取組がさらに活発になるよう支援を行っています。

企業連携の取組例としまして、資料ちょっと進んで 8 ページなんですけど資料の 8 ページの一番下の欄に「クローズアップ」ということで記載してます。今回、マルイ食品というところとパートナーシップ協定を結びまして、フードロス対策として廃棄予定されている卵を地域活動協議会が行う「ふれあい喫茶」などの地域活動に対して提供していただく仕組みを構築したところです。引き続き、企業連携にも力を入れて、このようなことにも積極的に取り組んでいきたいと考えております。

それでは、ここでただいま説明しました「地域活動協議会とまちづくりセンターについて」、皆さんよくご存じかもしれませんがもう一度ちょっとご説明をさせていただきます。

資料 3 です。行ったり来たりしてすみません。裏面の「地域活動協議会について」というところを見ていただきましたら、地域活動協議会につきましては小学校区を範囲としまして町会、主に小学校区ですね。違うところもあるんですけど主に小学校区、住之江区では各地域の連合と同じだけあるんですけど、範囲として町会を中心にその地域で活動する団体や企業NPOなどで構成された組織でして、その構成団体が連携・協力して地域の活性化や課題解決に取り組んでいます。

住之江区には、これちょっと資料 5 のほうになるんですけど資料 5 を見ていただ

いていいですか。

資料の 5 のほうに「地域活動協議会とは」と書いている表に①と書いてる分なんですけど、そこに書いてるように 14 の地域活動協議会があります。また、その資料の裏面に地域活動協議会の具体的な活動例を紹介しております。近年増えている災害への備えとして防災訓練やワークショップ、子育て支援、祭りや高齢者福祉、環境美化の取組など地域活動協議会ごとで様々な取組を行っています。そして地域活動協議会は行政が担わない分野及び市民活動団体の活動対象とならない分野をカバーしながら地域経営を行う「準行政的機能」という機能と住民の意見の調整、取りまとめ機能である「総意形成機能」というものを有した団体として、大阪市から活動を支援する補助金の交付を行っており、さらには中間支援組織、まちづくりセンターを通じた自立への支援を行っているところでございます。

地域活動協議会のことはちょっと簡単に以上でして、次に「中間支援組織まちづくりセンター」について説明いたします。次の資料 6 になります。

住之江区では、地域活動協議会の実情に合った自律運営を支援するために、まちづくりセンターを区役所の中に設置しまして支援を行っています。まちづくりセンターの主な業務としましては、1 点目が、地域課題やニーズに対応した活動を行うための支援。2 点目が、地域活動に参加する区民を増やし、様々な活動の担い手を育成するためなどへの支援。3 点目が、会計事務や広報など自立的な組織運営に向けた支援、というものを行っております。また、この地域活動協議会の中心となるのが各地域にある町会・自治会であることからより多くの住民が町会に加入し、地域の活動の担い手となっていただけるよう区役所・まちづくりセンターなどで資料 7、最後につけてます「町会加入促進のチラシ」を作成し、それを活用して広報や啓発活動など町会加入促進の取組も行っているところでございます。

今の説明は、以上でございます。

それでは運営方針の最初の資料の 1 ページに戻っていただきまして、画面に出て

いるところです。

最後の取組です。具体的取組 2－2－2 「地域の魅力の共有と発信」の取組として、地域が情報を発信することができるポータルサイト「すみのえ情報局」を運営・活用して、区内の関係団体等の情報発信を支援しています。すみのえ情報局につきましては、利用団体に偏りがある等の課題があることから利用状況の検証結果を踏まえ、今後は他の情報サイトの活用も考慮しながら地域の情報発信支援の手法について検討をしてまいります。

また、その資料の 9 ページの一番下の「クローズアップ」に記載しておりますが、初心者でも安心してスマホの活用方法を学べるよう株式会社 N T T ドコモ・相愛大学と連携し、スマホ教室を開催しました。引き続き、区民のリテラシー向上に取り組んでまいります。

資料の説明は、以上です。この部会において意見交換した内容を踏まえ、より効果的な取組になるよう進めてまいりますので、委員の皆様全員からご意見をいただきたく存じます。また今回は、新しいメンバーになって 1 回目の部会ですので委員の皆様が区取組に対して、どのように感じておられるかとか、また心から誇れるまちにしていこうためにはどのようにすればいいかなどふだん思われていること、率直なご意見等をいただいて意見交換できればと思っていますので、よろしくお願いいたします。

では、高田委員、よろしくお願いします。

○高田副部長

ありがとうございました。

ただいま事務局の説明を受けて、各取組についてのご質問やよりよい取組にするために必要なこと。また事務局から特にご意見いただきたいと依頼がありました内容につきまして、ご意見・ご提案をいただければと思います。

先ほど事務局から説明がありましたとおり、ご出席いただいております委員全員からご意見をいただきたいと思っています。どの取組からでも結構ですので、よろしくお

願いいたします。

どうでしょう。谷本さんからお願いできますか。

○谷本委員

はい。絶対来ると思いました。すみません。私がさっき3年目とか言うたから、1番になったんやと思うんですけど全然下っ端やったので何もええことは言えません。今、私はもう子どもも一番下が中学3年生で、もうPTAも全然関わってないんですね。唯一、関わっているのが、次男が南港のほうにある港南造形高校出身で今PTAを卒業した後の後援会に入ってまして、後援会で会計ということでまだ高校のほうとはつながっているという形でいろいろやらせてもらっています。港南造形高校というのは、すごい特色のある学校で住之江区の方にもいろんなイベントとかに参加させてもらってて、とてもうれしかったりとかすることもいっぱいあるんですけども。

前のときにもちょっと出たんですけども、今ここにもあったんですけど町会に入りましょうというチラシを作ってるということは、なかなか最近やっぱり新しく町会に入る人が少ないということだろうなというふうに思います。うちの町会もやっぱり新しく引っ越してきた人とかに町会に入ることを案内すると、ものすごいげんな顔で迎えられ、出てこられて「いや、結構です。うちには関係ないです」みたいなことを言われることが多いそうです。確かに、私も町会に入ってるんですけど町会費を払った分のメリットがあるのかと言われたらはっきり言ったら、ほぼないです。でもやっぱり付き合いとかで入ってるというのがあるので。ただ子ども関係のイベントで地藏盆とか年末の夜警とか、そういうので一応町会の子どもの担当ということで参加させてもらって、そのときに町会のイベントとかやるんですけど、ほとんどがやっぱりお年寄りを中心にしたイベントになりますので、私の家みたいな社会人と専門学校生と中学生みたいな家族構成だとなかなか参加することがないとか、力になれることがないということで、どうしてもイベントがないというふうに感じてしまうことが多いです。

それも町会の会議で議題に上ったことがありまして、小学生の子どもはPTAで関われる。お年寄りの人は老人会とか、そういうので関われるけどその中間の世代の人たちは町会に入ってて何かメリットがあるようにしないといけないのではないかと。そういう議題があったんですね。そのときに私ともう1人の中間の中に入る人たちと言ったのが「町会費を払っている人に何か還元するということをやればいいんじゃないか」と。例えば、年末に宝くじみたいな感じで町会費を払っている人に抽選をして、一等はお米とかそんな感じで何か還元するようなことがあったら町会に入るきっかけになるんじゃないかと。今、小学生は入学のときにお祝い金とか、そういうのを渡してるんですね、図書カードという形で渡してるんですけども。中学生以上になったら何もないんですよ。そういうのもやっぱり町会に入ってて不公平とまでは言わないんですけどちょっと寂しいなというのがあるので、何かそういうちょっと楽しいイベントがその中間のところになかないかなというのと。

あと町会費を、班があるんですけど班長になると町会費を各家に集めに行くんですけどそれも結構負担なんです。やっぱり留守のときが多かったりとか、そのときにちょうど用意しなきゃいけないというプレッシャーとか。町会費だけだったらいいんですけど赤い羽とか天満宮の募金とか、そういうのも集めに行かなきゃいけないというのがあったので、私が前に何かで見たんですけどスマホで町会費を納められるようなアプリがあるらしいんですけど、そういうのを住之江区さんから「こういうのがありますよ、町会で活用したらどうですか」みたいな発信をしていただけたら、うちの町会も上の方はもうお年を召した方ばかりで、そういうのはちょっと、というような人が多いんですけど住之江区のほうから、お勧めですというふうに言ってくれたら、もしかしたらそういうのを導入できるかもしれないし、そういう集金でしんどいというふうなので町会を敬遠してる人も入ってみようかなというふうなきっかけになるんじゃないかなと思って。そういうのもちょっと住之江区さんにやってもらえないかなというふうに思ってます。

今のところは以上です。すみません、長いこと。ありがとうございます。

○高田副部長

ありがとうございます。

ここで、三木部会長さんがお越しになりましたので交代をしたいと思います、よろしいでしょうか。

○三木部会長

すみません。高田さん、ありがとうございます。

貴重なお時間を私のために遅れてしまって申し訳ありません。

○井平課長

部会長に選任されたので、一言ご挨拶をお願いします。

○三木部会長

南港病院の三木です。いつもお世話になってます。

この度、区政会議ですね。去年2年間「はぐくみ・教育部会」、子どもさんの部会に入っていたんですけども。やはり住之江区の将来を考えるとその子どもさんをはかにかに優秀にして、成績をよくしてというようなお話がやはりお母さんたちからあったんですけど、優秀なお子さんは将来住之江区から出ていくと。住之江区の発展に本当に寄与してもらおう部会は、と思うと不登校とか子どもさんで発達障がいがあったり、また親からのネグレクトとかいじめとか、そういうのを病院で心療内科をされていてよく相談があるんでね。これは子どもさんが大事やなと。近くのスーパーマーケットに行くと、お母さんやお父さんが子どもに「どついたらか、おまえ」とか「言うこと聞かへんかったら、もうほっとくぞ」とか、ちょっとそういうのを堂々と大きな声でされて、子育てをするご両親が来られて、よく見かける。そこで何か言うたろうかなと思うけど、言ったら怖いなと思って何も言えないんですけども、もっと優しいまちづくりが必要やないかなというふうに思っています。

今回、部会を変えさせていただいたのは2期目なんですけれども、やはり一番の

問題は将来の住之江区って、10年、20年先は生きてるかどうか分からないけどももっと長い目で見て、住之江区がちょうど50周年になったということで、じゃあ次の100年先の住之江区はどうなっているんだろう、というふうなちょっと危機感を持ってるんです。うちは病院をやっているので町に人が住んでくれないと病院も必要なくなるし、恐らく地域の企業さんとか商店街ももちろんそうでしょう。やっぱり一番大事なのはもちろん明日・明後日・1年後のことも大事けども、やっぱりこういう区政会議でお話しするのはもっと長い目で見ていかないと。今まいた種が花を咲かせるのはもっともっと先になると思うので、長い目で見て、この住之江区を人口が減らないようにするにはどうしたらいいとか、高齢化とか認知症の問題とか、近い将来はそれですけども、もっと遠い目で見ると外国の人たちが住みよい町にするとか。障がいのある人たちも住みよい町にするとか。大阪のほかの区に比べて何か住みよい、人口が増えるような策を考えていきたいなと思って、こちらの部会に入らせていただきました。

部会長を任命されたのですけども2期目ということもあって、去年は「はぐくみ・教育部会」でお話をさせていただいたときに全体の部会でいろいろ区の職員さんに、あるいは区長さんに「なっとらん」とか「言うことだけで何もやってないやないか」とか、いろいろ全体会議の中で苦情を長々とおっしゃる方がおられたけど、今期はもっとそういうのは別のところでやらせてもらって、建設的なユニークなアイデアをみんなでも話し合うような会にしていきたいなと思ひまして、部会長を受けさせていただきました。2年間、よろしくお願いします。

○井平課長

谷本委員、ありがとうございます。各地活協というか地域の活動につきましては、やっぱり地域で最終的には決めることなのでなかなかこちらからどうこうというのは難しいんですけど、今言われましたいろんなアプリですとか、そういった便利なものの活用につきましては、まちづくりセンターからも話はしてますし、区役所からも紹

介するようにはしています。ただ、なかなかですね。やっぱり地域がそれを取り入れるとなるとすぐにはできないところがあって、ちょっと持続的に、気長にと言うたらあれですけど、言いながら少しずつでも変わっていけるようになればいいかなと思っていますので引き続き、その辺りは一緒にまた協力していただいて、なかなか地域ではそういったことは言えないと思いますけど区役所もやっていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○谷本委員

ありがとうございます。

○三木部会長

でも僕も患者さんがね、順繰りで集める係になるんですね、あれ順番に。心療内科でうつ病でかかっている人が順番になって「やりたくない、余計にうつになる」と言っている。でも順番だから受けないとしようがない。受けてやっておられるけども、すごいストレス。現金を預かるでしょ。失くしたらどうしようとかね。

○谷本委員

そうそう、会計さんに持っていくのもね。

○三木部会長

大変ストレスになるんですね。だからやっぱり現役のしっかりした人が集めんと、順番というのはあれやね。かわいそうなんですね。僕でもようせん。行ってもいなかったら、また行かなあかん。

○谷本委員

そうそう。

○三木部会長

「来るな」と言われたら困るしね。それは大きな問題と思うので、それはどこで討議したらいいですか。町会の中で。

○井平課長

そうですね。各地域になるんですけどね。

○三木部会長

例えばですね、よその区の町会とかで成功事例とか、こういうことしてたらうまくやれましたとかいうのをちょっと集めてもらえませんか。

○井平課長

そうですね。はい。その辺の一緒にやっていきます。

○三木部会長

お願いいたします。

皆さん、ご意見はありますか。

○谷本委員

順番に1人ずつなので、よろしくお願いします。全員あれなので。

○三木部会長

はい、どうぞ。

○久保委員

意見ですか。先ほど谷本さんがおっしゃったのを分かります、分かりますってちょっと、はい、うなずいてたんですけれども。私どもの町会でもやっぱり高齢の方が多いので、確かに班長さんになられると町会費とかで正直、集まらないところもあるんです。やっぱりなかなか大変みたいで、それもありますし。あと班長さんになりますと私どものほうで大和川の清掃とか、図書館公園の清掃とか一応その割当てをして、皆さんで月1でやってるんですけれども。そのほかに私どもの子ども会というのが、連合の子ども会はあるかもしれませんが各町会の子ども会というのはもうなくなってしまいましたので、正直もう夏祭りとかもう本当にイベントが少なくなってしましまして。夜警でもコロナ禍以前はおでんを炊いたりとか、皆さんでお酒を飲んで和気あいあいとやってたんですけれどもそれもなくなって、回ってお茶やお菓子を配るという形になってしまっていて本当にちょっと寂しいと言いますか、大変なんですけどでも

やっぱりそういうコミュニケーションと言うんですか、そういうのもなくなってきました。だからそうですね。班長ね、大変かも分かりませんが一つの私どもちょっとコミュニケーションという形で、できればやっぱり隣近所の方、様子見と言うんですか、そういうのもなんか大事なのかなと思うときもあるんですけれども。ごめんなさい、ちょっと自分の感想だけになってしまいましたけれども。はい。すみません、私のほうがちょっと気になったことはそんな感じです。すみません。ありがとうございます。

○三木部会長

ありがとうございます。

よろしい、魚谷さん。

○魚谷委員

私は今年から初めてこの会に入れさせていただいて、かなり緊張しております。

○三木部会長

2期目は部会長ですよ。

○魚谷委員

私はね、町会費を集めるほうで。会計をもう20年からさせてもらっているんですが会費がどんどん減っていくことが悩みの種です。

それはさておきまして、私のほうは民生委員を今年で32年やらせていただいております、今は民生委員長という立場にございまして民生委員の成り手を探すのに本当に苦労しています。どんどん定員を割ってきまして、この12月1日に新年度がまた3年間始まるんですけれど、私が欠員を補充して1人で2人分働かなきゃと思いながら新年度を迎える形になっております。民生委員だけじゃなくて、PTAとかいろんな人様のお世話をすることによりまして、あまり全体的に関心がないのかな。

町会が、お家が古くなって壊されますとワンルームマンションが建ってしまいまして。1軒あったお家に十何軒とか二十何軒とか世帯数は物すごく増えていっていま

す。このたびも国勢調査がありましてね。150人ぐらいだったところがもう180人、190人ぐらいの世帯になっていますけれども回答していただけないところが多いですし、性別さえも分かりませんね。どういう方が住んでおられるか。お家へ訪ねても昼間はどなたもいらっしゃいませんし、灯りがついたなと思う頃には夜が遅くて、お訪ねもしにくいのですしね。それも随分と困りましたですね。昔と違って、回答書を集めに行かなくてもよくなりましたので、インターネットとか郵送でいただけるようになったので、それは随分と助かっていますね。

戸建てのお家とか文化住宅とかいうのはほとんど高齢者ですね。若い人たちは巣立っていかれて、年老いたご両親だけが残っておられる。で、片方になってしまう。單身の方が多い。見守りと言っても見守るほうが高齢で若い世代の方がほとんどいらっしゃらない。若い人たちは高層のマンションとかにお入りになって、町内との関わりがほぼほほぼない。マンションの中同士でもお付き合いをしておられませんね、端から見てましても。廊下で擦れ違っても挨拶さえなされない、そういう方々が増えてきて、どうなっていくんだろうという。本当、災害とかいう以前に人と人との関わりがほとんど感じられない。うちの前にもワンルームマンションが建ちまして、この9月の末から新しい人がどんどん入ってきております。外から「おはようございます」と言うとすごくびっくりされます。人に声をかけられたことがないのかなというような反応をされますね、男性も女性も。懲りずに挨拶ばかりしてましたら、いつの間にかお返事していただけるんですけれど。そんな感じで朝も登校時間には、もう17年子どもの見守りをやっています。子どもたちはもうすぐなついてくれますのでね。時々お父さん、お母さんも一緒に学校に行かれたり、運動会とか参観日とかあるんですけど、子どもが挨拶してくれてもお父さん、お母さんは挨拶なさいませんよ。「おはようございます」と言っても「ふん」という感じでね。だから、どうなってるんだろうなと思うような毎日です。はい。そんな感じです。

○谷本委員

何かありましたよね。家にいて、たまたま登校途中の子がいて、近所の方が「おはよう」と言ったら防犯ブザーを鳴らされた。だから親が多分「知らない人に声かけられたらブザーを鳴らせ」と言ってるのがそれになっちゃった。昔だったら近所の人に「おはよう」と言われて、「おはよう」って返すのが普通だったのが多分コロナでそういうのが途切れてしまって、今の小学校2、3年生ぐらいはもう多分1、2年のときにコロナで、全然関わりがなかったと思うんで、周りが知らない大人ばかりで「地域の人」と言われても分からないからブザーみたいな感じなるのかもしれない。

○魚谷委員

だから見守りのときは、幸いに同じジャンパーを着てますからね。

○谷本委員

そうそう、そういうのは多分そう、横断歩道のところとか立ってくれはってるじゃないですか。子どもたちは認識するんですけどたまたま「おはよう」って言った人は知らん人みたいな認識になっちゃうんかなって、ちょっとね。何か世知辛いんですよね。

○三木部会長

魚谷さんは、公募。どちら。

○魚谷委員

安立地区です。

○三木部会長

安立の、なるほど。安立は、古い町ですね。

○魚谷委員

古い町です。

○三木部会長

それでも駄目ですか。

○魚谷委員

だから新しく来られる方が。

○三木部会長

まだ商店街も残ってるし。

○魚谷委員

商店街は形だけありますけど。

○三木部会長

そうですね。あそこも新しいのが建ってませんね。

○魚谷委員

新しいのはほとんどありません。アーケードだけなんですよね。

○三木部会長

僕は北加賀屋なんですけど、うち銭湯してるんですよ。銭湯でやっぱりなじみの人とか、子どもさんも来られて、挨拶したりね。結構、和気あいあいとしてますよね。北加賀屋の町は結構挨拶、皆さんしてくれて。信号待ちのおじさん、信号の整理するおじさんも毎朝、同じ人で「おはよう」って大きな声で言うてくださるし、僕が犬の散歩してたら「かわいいワンちゃんやね」って全然知らない人から声をかけられるし。「何歳」とか、「男の子、女の子」とかね。だから、この町はすごいフレンドリーな町で全然知らない人からもそうして声がかかってくるので、優しい人が多いと言うか、下町やなという感じは北加賀屋はするんですけど。地域によって違うんでしょうね。

○魚谷委員

古い住民の方はそんなことないですよ。もう私も50年から住んでますから町内で知らない人はないんですけど、お互いに。でもそういうマンションとかになってきますとね、もう全く。

○三木部会長

マンションも結構、エレベーターが来たら「こんばんは」とか「さよなら」とか。声かけはしてますけどマンションにもよるんでしょうね。

○谷本委員

マンションとあと人にもよりますよね。

○三木部会長

はい。声をかけると「さよなら」とか、「こんばんは」とか声をかけるとやっぱり返ってきますけどね。声をかけなかったら返ってこない。

あとは、この前、新北島の夏祭りに行ったんですけど、新北島はすごいよいと言
うか、町会にほとんど入っておられると聞くし、すごい盛大な夏祭りで。子どもさん
もたくさん来て、校長先生とか学校の先生も来てくれて、夜。子どもが卒業生がです
よ、ワーッと来て高校生が中学の先生とかに「元気か」とかって。新北島はすごい町
会の人たちが頑張ってるなという印象はありましたけどね。地区によっても違うんで
しょうね。地区ごとにそういう困り事をちょっとまとめていったらいいかもしれませ
んね。はい、そう思いました。

高田さん。

○高田副部会長

はい、ありがとうございます。そうですね、ちょっと違う視点から言おうかなと
思うんですけど。

僕も区PTAにもいたこともありましたので、やっぱり子どもの目線とか親の目
線というところでやっぱり町を見てました。お祭りとかすごく楽しいことはいろ
と協力はいただけるんですけど、やっぱりそれ以外となってくるともう何やってるか
分からないというのが多いんですよ。PTAもそうなんです、やっぱり活動自体
が何やってるか分からない。区も何やってるか分からない。この何をやってるか分か
らないというのは昔ならば、それこそ本当に町のみんなのつながりがあったのでいろ
いろと行事とかはもう口伝えに口コミでいろいろと話もつながったと思うんです。で
も今はやっぱり個になってきましたし、先ほども一軒家が潰れたら今度ワンルームマ
ンションが建つ。うちの近所もそうです。もう空地は全部ワンルームマンションにな

ってる。そういった人たちは当然ながら、もう仕事行って帰ってきて寝るだけとなっているので町の行事も参加することもないし、もちろん「さざんか」は届いてると思うんですけど区で何やってるかって多分もう関心もないし、見たくもないというふうになってるんじゃないかと思うんですよね。そういう人たちが増えてくる以上、何とかしてもっとそういう人たちを巻き込めたらなというところがこれからの課題になるとは思っています。僕自身もちょっとホームページの仕事をしてるのもあるんですが、やっぱり今、若い人は絶対ネットは見る。ネットを見るということを逆に何か利用できないかなというところもあります。先ほど谷本さんもね、中間の世代がなかなか関われないというのがあったと思うんですけど、やっぱりそこはそういうちょっとネットなど文明の利器も利用しながら。やはりちょっと紙だけじゃなくて電子媒体でも、もっともっとより出していく必要はあるかなと思いますし。

先ほどの、多分何かしらのインセンティブがないともう協力しないだろうなと思ってます。PTAでもそうです。会計とかも外部に任せようかという学校も出てきましたし、やっぱりそういったところに行くと、もう何かしらのしんどい仕事はやっぱり何かしかのインセンティブなりがないと、もうみんな動いてくれないんじゃないかなということはあると思います。いわゆるお駄賃ですよ。お駄賃というか、お手伝いいただいた何て言うんすかね、ちょっとそういったお礼というか。でもそれがなんぼとかいうわけじゃないんですけども、でも何かして何かもらえるというようなちょっと僕、あんまり好きじゃないんですけども、そういう体制も考えていけないんじゃないかなというふうには思ったりもしてます。だからそういうちょっと参加したくなる仕組みというか、そういったところもいろいろとできたらなと思っています。

去年かな。住吉川小学校でしたかね。防災フェアでロゴスさんが来はって、区長も参加して、1回僕も見に行かせていただいたんですけど。やっぱり何かそういうちょっと大手企業で名の知れたところが来て、一緒に親子そろって防災のキャンプでテントを張って、また食事も自分たちで作ってという。朝から、まずは学校でやって、

昼間はちょっとテント張りの講習。夜ではキャンプファイヤーまでするという結構、1日通してのイベントだったんですよ。

○高田副部長

でもお父さん、お母さんでもキャンプに慣れている人はいいんですけども、やっぱりテントを張るということ自体が難しかったりとか。またこれが防災の例えば、拠点にできるということになれば、やっぱり覚えておいていいなと思いましたし。何か、そういうのに触れる機会というのをもっともっと増やしてもいいなと思いました。区長にも僕は言ったかもしれないんですけど、住吉川小学校さんだけでなく区内の小学校に全部回ってもらえたらいいんじゃないかとも思いましたし。そういうちょっとしたことかもしれないですけど「何か行ったら楽しそうだな。ためになりそうだな」というのも、もっともっとアピールしてもらえたらいいなというふうに思っています。だから、先ほどのすみません。「何やっているか、分からない」というのを「ああ、何でも、こんなこともやっているんだな。あんなこともやっているんだな」というような形で皆さんにできたらいいんじゃないかなと思いました。

以上です。

○三木部長

はい、ありがとうございます。

僕も子どもの頃、楽しい思い出ってあまりないんですけど勉強ばかりしてたから。そういうこともないけど、そんなに運動も音痴だったし勉強もあまりできなかったし、そんなに子どもの頃。でも、おっしゃったようにキャンプファイヤーとか七夕祭りとか、そういうのを覚えてないけども楽しかったなという思い出はありますね。だから「はぐくみ・教育部会」でも、勉強のことばかり話ししてたけど、そういう思い出があればまた住之江区に帰ってくるんじゃないかなと思って。今の話を聞いててロゴスさんに協力してもらえたらいいなと思うけれども、その楽しい夏の思い出とかつくってあげたら帰ってきてくれる。偉くなって外へ出てもまた帰ってきてくれる

んじゃないかなというふうに思いました。そういうのもまちづくりで長い目で見て大事なことやと思います。ありがとうございます。「はぐくみ・教育部会」にも言ってあげたらいいね。

○谷本委員

私が子どもの頃って、まだ低学年の頃はぎり土曜日授業というのがあって、父親も土曜日も仕事という感じで、子ども会でいろんな行事に行ったり、スケートだったり、プールだったり。もう子ども会で遊ぶのが普通だったんですけど、今ってもうお父さんも運動会ももちろんやけど参観日も来るし、いろんな行事にも絶対に夫婦で来るのが当たり前になってきてるぐらい、すごい家族のコミュニティが強くなってる気がするんですね。すごいお父さん、お母さんも子どもの行事を優先できるような環境になってきてるのかなというのがある。だからこそ、コロナもあったから余計に子ども会の役割があまりなくなってしまって、うちの町会も子ども会がなくなって町会に取り込むという形で私が一応「子ども部会」という形で町会の中に入ったんですけど。だから、何か今求められてるのと現状と何かそういうのがいろいろとかみ合っていない部分があるから子どものイベントはしたいけど、でも親子でのほうを優先する人が多かったら幾らイベントをやっても、例えば、家族で旅行に行くからその日は無理みたいな人がいっぱいいたら結局誰も来ないとかなっちゃうので。そうじゃなくて、何かみんなが家族の予定として入れ込めるぐらいの何か魅力的なイベントがあったらいいな、というのは思いますね。

逆に住之江区って、結構イベントは多いと思うんですよ。だから、その中で自分が参加できるものを探するのが逆に大変というのがあって。私コロナでちょっとなくなっちゃったんですけど、以前に住之江区のイベントで担い手をつくるというようなやつがあって、その委員長をやらせてもらってたときがあって。そのときにクイズ大会をやろうというのが立ち上がってて、一応やるとこまで行ってたんですけど本当に直前でコロナになってしまって実際できなくて。言ったら、住之江区の問題を作っ

「住之江区の中で誰が一番住之江区のことを知ってるか」みたいな感じで。もうなくなってしまったんですけど湯楽さんの入浴券がもらえるという「入浴へ行こう」というウルトラクイズとかけて、というのまで決まっていたんですけど本当イベントができなくて残念やったんです。そうなんですよ。で、最初いろいろ意見があったんですよ。小学校ごとの対決にしようとか。そういうのを考えてるだけでもすごい楽しかったんですよ。そういう何かクイズとかだと体力も要らないし、年齢も関係なしに楽しめるというのが私の意見が通って採用してもらえたというのがあったんですけど。だから子どもからお年寄りまで楽しめるイベント、運動会はちょっと厳しい人が多いかもしれない。クイズとかだったら、例えば、体の不自由な方でも知識さえあれば参加できるとか、いろいろ思って。じゃ〇・×だったら何かできるんじゃないかなとか、いろいろ考えた結果がそういうふうになったので。また、そういう何か楽しいイベントみたいなのを考えられたら、また委員会みたいなのを立ち上げて「こういうのやりませんか」というのをそれこそ、こういう公募委員みたいな形で募集したりとかしたら、もしかしたら興味がある、クイズを作るのが得意という人が来るかもしれないし、看板を描きたい、絵が得意やからという人も来るかもしれないしというので、そこに若い人なり、その中間の世代の人たちが参加できるようなことがあれば楽しいなみたいなふうに。

あとは何か住之江区のいろんな名所を巡るスタンプラリーとか。そのスタンプラリーの場所に、何かその地域の人たちが「うちはこんなんが魅力です」みたいなのをアピールできるのがあったりとかも何か子どもたちにいろんな住之江区のことを知ってもらうきっかけとかにできないかなとか、いろいろ変なアイデアを思いつくんですけど、実際にそれをイベントにできるかどうかはまた別で。何かいっぺんそういうのはやってみたいなとは妄想で思ってます。はい、すみません。また何かいろいろ口出して、すみません。

○三木部会長

住之江区の問題もいいと思うし、賢い子ばかりとかでもこう、だから何か障がいがある人とかハンディキャップがある人とか、あるいは子どもたちでも運動神経のいい子と悪い子とかいるけど、同じようにできるような工夫したスポーツがあるって、どこかで聞いたことがあって、ちょっと忘れちゃいましたけど。何か、ちょっとした工夫でハンディキャップがある人となない人と一緒に競争できるみたいなことがある、工夫次第である、ちょっとまた調べてみますけど。いろんな競技というか、知識を競うだけじゃなくて、その人、その人の何かいいところを引き出すような、いろんな競技をされたらいいかなと思いますね。ありがとうございます。ぜひやってください。

時間ですか。はい、どうぞ。

○井平課長

スタンプラリーみたいなのは体育厚生協会さんがちょっとやったりとかしてまして、今の障がい者スポーツの関係でそのボッチャの大会とかもやったりしているんで、そういったことをどう届けていくかというところがやっぱり大事だと思うんです。なかなかやってて、発信はしてるけど全部に伝わってないというところもあるので、そういったところについてはこれからもちよっときっちりとやっていきたいなと思いますし。

あと、いろんな楽しいイベントというところにつきましては、まちづくりセンターで一応いろんなにぎわいづくりとかを支援していくということを進めているのでそういった中で、そんなことも考えられへんかというのは、まちづくりセンターとも連携して、そういったこともちょっと話していきたいなと思っていますので引き続き、また次回の部会の際にでもまた新しい案というか、いろんな楽しいことを提案いただけたらありがたいなと思いますので、よろしくお願いします。

○三木部会長

一通り、ご意見などをいただきましたが最後に何かありましたらお願いします。

はい。よろしいですか。

それでは予定した時間となりましたので、本日はこれで終了とします。

本日の会議内容については、12月2日火曜日に開催予定の区政会議の全体会議において情報共有を図る予定としています。事務局におかれましては、本日の議論内容を整理いただき、次回の全体会で報告できるように資料の取りまとめをお願いいたします。最後に議事進行にご協力いただき、ありがとうございました。

○井平課長

部会長、高田副部会長、どうもありがとうございました。

本日は長時間にわたり、ご議論いただきありがとうございました。いただいたご意見をしっかりと受け止めまして、今後の区政に反映していけるよう取り組んでまいりますので引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

本日の議論を踏まえまして、部会長より指示がございました全体会で報告する資料につきましては事務局と部会長に一任いただいてもよろしいでしょうか。

○各委員

はい。

○三木部会長

よろしくお願いします。

○井平課長

また相談に行きます。

では、これで住之江区区政会議第2回すこやか・まちづくり部会を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。

○三木部会長

その前に。最初にちょっと申し上げたように、いろいろな皆様のご意見があって、去年もそう思ったんですけども。短期・中期・長期のそれぞれの3つの目的で整理していきたいと思います。皆さんが本当に今、困っていること、すぐにでも何か解決しないといけないこととか、すぐにでもやりたいことはもう短期で、この2年間の

我々の任期の間でやってしまいたいことを短期として。それから５年ぐらいでどうか
なというのを中期として、それからさっき言った５０年先の目標というのをつくって、
２年後にまた次の委員に具体的にバトンタッチしていかないと、替わるごとにまたゼ
ロからではちょっと進まないと思うので、まずそういうふうに３段階に分けて話し合
っていくようにしていきたいと思います。よろしくお願いします。

○井平課長

ありがとうございます。では、これで住之江区区政会議第２回すこやか・まちづくり
部会を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。

以下余白